

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書			
令和7年6月24日			
山梨県知事 長崎 幸太郎 殿			
提出者			
住 所 山梨県北杜市白州町下教来石14-2			
氏 名 熊本県果実農業協同組合連合会 白州工場			
工場長 渡辺 清輝			
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 0551-35-3111			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。			
事業場の名称	熊本県果実農業協同組合連合会 白州工場		
事業場の所在地	山梨県北杜市白州町下教来石14-2		
計画期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日		
当該事業場において現に行っている事業に関する事項			
①事業の種類	飲料製造業 (E10)		
②事業の規模	221億円		
③従業員数	263名		
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<table><tr><td>排出先：白州工場 種類：汚泥・動植物性残さ ↓ 運搬：自社/国土興産 ↓ 処分：サン・レーベン(株)</td><td>排出先：白州工場 種類：廃酸・廃プラ・木屑 種類： ↓ 運搬：国土興産(株) ↓ 処分：国土興産(株) 処分：エルテックサービス(株)</td></tr></table>	排出先：白州工場 種類：汚泥・動植物性残さ ↓ 運搬：自社/国土興産 ↓ 処分：サン・レーベン(株)	排出先：白州工場 種類：廃酸・廃プラ・木屑 種類： ↓ 運搬：国土興産(株) ↓ 処分：国土興産(株) 処分：エルテックサービス(株)
排出先：白州工場 種類：汚泥・動植物性残さ ↓ 運搬：自社/国土興産 ↓ 処分：サン・レーベン(株)	排出先：白州工場 種類：廃酸・廃プラ・木屑 種類： ↓ 運搬：国土興産(株) ↓ 処分：国土興産(株) 処分：エルテックサービス(株)		

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
<div>(管理体制図)</div> <div><div>各工場内に分別後に第1次保管（第2～4工場）</div><div>↓</div><div>指定の廃棄物の置き場へ移動・保管</div><div>↓</div><div>自社運搬分を指定場所に保管・管理（汚泥・茶殻・コーヒーかす）</div><div>↓</div><div>国土興産（株）に運搬・処理 委託分は日々回収を実施</div><div>↓</div><div>自社での運搬の汚泥・動食物性残さはサ・レーベン（株）で処理</div><div>↓</div><div>全ての産業廃棄物を外部に中間処理を委託し、リサイクル化に努めております。</div></div> <div>◎環境対策委員会1階/月開催し、廃棄物の削減、分別管理について対策を実施中です。</div>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和6度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙A：1～9	
	排出量	5923.69t	t t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【（令和6年度）目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙A：1～9	
	排出量	5626t	t
	（今後実施する予定の取組） 産業廃棄物を昨年度より約5%の排出量削減を目標		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃プラスチック類： 残渣が付着した物との分別作業を徹底中 動植物性残渣： 含水率を下げる為時間を掛けて水切を実施中		
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ①を継続します		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙B：1～9	
	全 処 理 委 託 量	5924.5t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 産業廃棄物の分別に関する事項の所と同様(①現状)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙B：1～9	
	全 処 理 委 託 量	5628.3 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	産業廃棄物の分別に関する事項の所と同様(②計画)		
令和6年度より令和7年度は5%廃棄物削減目標で努力を致します			
※事務処理欄			

(任意) 事業系一般廃棄物に関する事項

自ら行う事業系一般廃棄物の処理施設への搬入に関する事項							
① 現 状	【前年度（ 年度）実績】						
	一般廃棄物の種類						
	排 出 量	kg	kg	kg	kg	kg	kg
	(これまでに実施した取組)						
② 計 画	【目標】						
	一般廃棄物の種類						
	排 出 量	kg	kg	kg	kg	kg	kg
	(今後実施する予定の計画)						
許可業者への処理の委託に関する事項							
① 現 状	【前年度（令和6年度）実績】						
	一般廃棄物の種類	可燃物	紙パック	茶袋			
	排 出 量	22,575kg	356,200kg	62,760kg	kg	kg	kg
	(これまでに実施した取組) 飲料の製造工程で発生する紙パックのロス材はリサイクル化で実施中 紙パックのリサイクルは製紙工場にてペーパーの原料として活用しております						
② 計 画	【目標（令和7年度）】前年度の▲5%						
	一般廃棄物の種類	可燃物	紙パック	茶袋			
	排 出 量	21,450kg	338,390kg	59,620kg	kg	kg	kg
	(今後実施する予定の計画) 廃棄物削減目標は昨年度の約5%減を計画中						

備考

(第1面)～(第5面)について(法で定める事項)

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(第6面)について(事業系一般廃棄物に関する事項で記入は任意です)

- ・事業系一般廃棄物に関し減量の取組を行っている、又は今後取組む方は記入をお願いします。
- ・一般廃棄物の種類については、「紙」、「びん」、「缶」等で分別している場合は、その区分の記載をお願いします。細かく分別していない場合は、「可燃物」、「不燃物」等の記載をお願いします。
- ・同封しました「トライ産廃スリム」の対象として、事業系一般廃棄物も含まれます。

別紙 A-1

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	汚泥
	排出量	3718.5 t
	<p>（これまでに実施した取組）</p> <p>サン・レーベン株式会社にて堆肥化をお願いしている為、出来るだけ水分を取り除き運搬をしております。</p> <p>汚泥に異物・ゴミが混入しないように常に目視の管理を実施中</p>	
②計画	【令和7年度 目標】	
	産業廃棄物の種類	汚泥
	排出量	3532 t
	<p>（今後実施する予定の取組）</p> <p>汚泥の排出量を前年度に対し約5%削減の目標を定め管理をしたいと思います。</p> <p>汚泥の排出量を減らす為に排水処理に負荷が掛からない様に、各工場と洗浄水の節減の打合せを随時行う事とする。</p> <p>タンク清掃時に水の垂れ流しをしない工夫をする。</p>	

別紙 A-2

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】	
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	廃酸
	排 出 量	296.9 t
	<p>（これまでに実施した取組）</p> <p>国土興産株式会社に廃酸（製品ロス品）の乾燥処理をお願いしており乾燥後の残さは飼料としてリサイクルに努めています。</p>	
②計画	【令和7年度 目標】	
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	廃酸
	排 出 量	282t
	<p>（今後実施する予定の取組）</p> <p>廃酸の排出量を前年度に対し約5%削減の目標を定め管理をしたいと思います。</p> <p>製造時の細かなミス・製造ラインを常に点検管理をして頂ける様に各工場と打合せを随時行い製品ロスを少なくする。（製品廃棄の減量に努める）</p> <p>原料の調達時の管理と冷蔵庫設備での管理に十分注意をして、原料の廃棄処理量の削減に努める。</p>	

別紙 A-3

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類
	排出量	225.8t
	<p>（これまでに実施した取組）</p> <p>汚れ・残さ付きのプラスチックビニールと包装プラスチックビニールを分別してリサイクル活用がしやすい様にと取組中です。</p> <p>現在は焼却処理をしないで、リサイクル活用が出来る処理場の国土興産株式会社に全量を運搬・処理を委託中です。</p>	
②計画	【令和7年度 目標】	
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類
	排出量	214 t
	<p>（今後実施する予定の取組）</p> <p>廃プラスチック類の排出量を前年度に対し約5%削減の目標を定めて管理をしたいと思います。</p> <p>資材の調達先に簡素化した包装のお願いを要請する。</p> <p>香料の容器がリサイクルしやすい様に全量使いきるように心がける。</p> <p>廃プラスチックをなるべくきれいに洗浄するように心がける。</p>	

別紙 A-4

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】	
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	木くず
	排 出 量	16.8 t
	<p>（これまでに実施した取組）</p> <p>木製パレットを出来るだけ長持ちをさせる為、フォークリフトでの荷役作業を慎重に行うよに社員・運搬業者の教育訓練を実施中です。</p> <p>木製パレットはバイオマス発電の助燃材としてサーマルリサイクルとして活用中</p>	
②計画	【令和7年度 目標】	
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	木くず
	排 出 量	16 t
	<p>（今後実施する予定の取組）</p> <p>木くずの排出量を前年度に対し約5%削減の目標を定めて管理をしたいと思います。</p> <p>仕入れ時の梱包木枠・木製パレットは出来だけ納入業者に返却をする事とする。</p>	

別紙 A-5

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令6年度）実績】	
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	動植物性残さ
	排 出 量	1665.5 t
	<p>（これまでに実施した取組）</p> <p>サン・レーベン株式会社にて堆肥化にして頂いておりますので、出来るだけ水分を切ってお届けをしております。</p> <p>自社運搬の為、輸送中の事故防止の教育を実施中です。</p>	
②計画	【令和7年度 目標】	
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	動植物性残さ
	排 出 量	1582 t
	<p>（今後実施する予定の取組）</p> <p>動植物性残さの排出量を前年度に対し約5%削減の目標を定めて管理をしたいと思います。</p> <p>異物・ゴミの混入を防ぐ為、目視での確認を実施を致します。</p>	

別紙 A-6

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】	
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	金属くず
	排 出 量	0 t
	（これまでに実施した取組） リサイクルがしやすい様にプラスチック等の異物を取り除き出荷中です。	
②計画	【令和7年度 目標】	
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	金属くず
	排 出 量	0 t
	（今後実施する予定の取組） 金属くずの排出量は前年度の廃棄数量を超えないように努めたいと思います。 異物が混入しないように分別指導を行います。（ガラス・プラの混入防止）	

別紙 A-7

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	ガラスくず
	排出量	0 t
	（これまでに実施した取組） 香料等のびんが多い為洗浄してリサイクル化に努めております	
②計画	【令和7年度 目標】	
	産業廃棄物の種類	ガラスくず
	排出量	0 t
	中の洗浄をして保管する事を実施します	

別紙 A-8

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】	
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	廃電池
	排 出 量	0.06 t
	自然発火に注意をして適正保管	
②計画	【令和7年度 目標】	
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	廃電池
	排 出 量	0.06 t
	自然発火に注意をして適正保管	

別紙 A-9

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	廃蛍光灯
	排出量	0.13 t
	割れて飛散しない様に適正管理保管を致します	
②計画	【令和7年度 目標】	
	産業廃棄物の種類	廃蛍光灯
	排出量	0.13 t
	割れて飛散しない様に適正管理保管を致します	